

千葉市立緑町中学校 キャリア教育グランドデザイン

道徳科の研究について

全体研究主題との関わり		生徒の実態	
<p>道徳教育の要となる道徳の時間は、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成することを目標としている。そして、キャリア教育は、「基礎的・汎用的能力」の育成を一つ目標としている。これらの目標を達成するために、「主として自分自身に関すること」、「主として人との関わりに関すること」、「主として集団や社会との関わりに関すること」の3つの視点を中学1年次から1つずつ重点的に行って基礎的・汎用的能力を育成し、さらに、道徳的価値を実現するための適切な行為を主体的に選択し、実践していける生徒を育成したい。</p>		<p>昨年度の2月に実施したアンケートでは、「自分は自分自身のことについてよくわかっている」、「自分は相手のことを考えることが得意なほうだ」、「自分は集団生活でのルールやマナーについてよく理解している」、「自分は生命の尊さや自然の偉大さをよく理解している」という4つの視点にかかわる項目で78%から92%と比較的高い割合を占めている。しかし、4つの視点についてある程度理解していても、日常生活で実践できているかは不明である。したがって、身につけた道徳的諸価値を実現するための適切な行為を主体的に選択、実践する力を身に付けさせる必要があると考える。</p>	
研究主題			
<p>自己を見つめ、他人を理解し、将来を見通した道徳的実践力の育成</p>			
目指す生徒の姿			
㊦とめあう力	㊦つめる力	㊦いだす力	㊦とおす力
<p>・自己を人との関わりにおいて捉え、望ましい人間関係の構築を図ることができる。</p>	<p>・自己の在り方を自分自身との関わりで捉え、望ましい自己の形成を図ることができる。</p>	<p>・日常生活や今後出会うであろう様々な場面状況において、道徳的価値を実現するための適切な行為を主体的に選択し、実践することができる。</p>	<p>・人間としてよりよく生きるために道徳的価値に向き合い、いかに生きるべきかを自ら考え続けることができる。</p>